

# Scene of the veil

2022年3月3日(木) - 3月13日(日)

11:00 - 19:00 | 入場料: 無料

COCON KARASUMA

2Fアトリウム

京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町620

主催 | ARTISTS' FAIR KYOTO 実行委員会 (075-414-4222 \*9:00-17:00, 土日祝除く)

協賛 | COCON KARASUMA

プログラムディレクター | 矢津吉隆 (美術家)



ARTISTS' FAIR KYOTO:  
SATELLITE 2022

## ベールの光景

Scene of the veil

KYOTO ART LOUNGE EXHIBITION

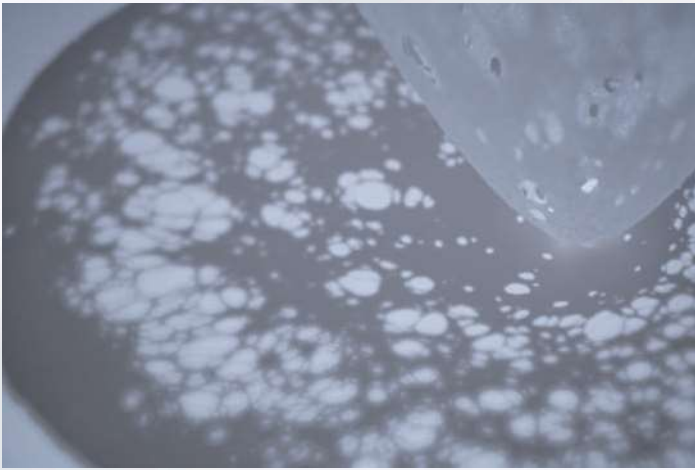
西久松友花

嶋春香

澤あも愛紅

葛本康彰

Kudzumoto Yasuaki  
Sawa Amou Aicou  
Shima Haruka  
Nishihisamatsu Yuka



葛本康彰《approach -flat-》2021



澤あも愛紅《水鳥》2021 | photo by Aki Takayama



嶋春香《“蒐集”シリーズより》2021



西久松友花《緋》2021 | photo by Takeru Koroda

KYOTO ART LOUNGE EXHIBITION

# ベールの光景

Scene of the veil

2022年3月3日(木) - 3月13日(日)

11:00 - 19:00 | 入場料: 無料

COCON KARASUMA 2Fアトリウム

京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町620

主催 | ARTISTS' FAIR KYOTO 実行委員会 (075 414 4222 \*9:00-17:00, 土日祝除く)

協賛 | COCON KARASUMA

プログラムディレクター | 矢津吉隆 (美術家)

山の麓のかつての美術村、清水焼きの窯元が集まる団地、看板の残る空き店舗、かばん製品の元工場、京都の街の様々な場所に作家のアトリエは存在します。少し視点をズラすと、作品と向き合い制作に励むアーティストの日々は、私たちの生活のすぐ隣にあることに気がきます。本展「ベールの光景」では、アーティストの創作の裏側を捉えた映像と共に、京都にアトリエを構える4名の作家が作品によってそれぞれの光景をつくりあげます。

葛本康彰

Kudzumoto Yasuaki

彫刻家

1988年奈良生まれ。京都教育大学教育学部卒業。京都精華大学大学院芸術研究科博士前期課程修了。作品制作を自分と外界(自然)との間に接点を生み出す行為と捉え、自然現象の痕跡を素材の特性によって定着し、人間と自然の関わりの一とつ在り様として可視化している。主な展覧会に「Know Arts vol.2 現れる姿形 西川礼華・葛本康彰展」八日市文化芸術会館(2021)、「WATOWA ART AWARD 2021 EXHIBITION」elephant STUDIO(2021、大庭大介賞)、「Kyoto Art for Tomorrow 2020 - 京都府新鋭選抜展 -」京都文化博物館(2020、日本経済新聞社京都支社賞)など。

嶋春香

Shima Haruka

画家

1989年北海道生まれ。京都造形芸術大学美術工芸学科洋画コース卒業。京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻油画修了。図録に掲載されている道具等の資料写真をモチーフとし、人と図像の歴史的な関わりをテーマに絵画を制作している。主な展覧会に「余の光 / Light of My World」旧銀鈴ビル(2021)、「Kyoto Art for Tomorrow 2021 - 京都府新鋭選抜展 -」京都文化博物館(2021、毎日新聞社賞)、「punto × 副産物産店 + 仲地志保美 “Wunderkammer”」GOOD NATURE STATION 4F Gallery(2020)、「洪水の跡と蒐集」ギャラリー16(2019)など。



各アーティストのアトリエでの制作風景とインタビューを収めた映像はこちらからご覧いただけます。

澤あも愛紅

Sawa Amo Aicou

美術家

1993年岐阜生まれ。京都市立芸術大学美術学部絵画専攻卒業。京都市立芸術大学大学院 美術研究科絵画専攻油画修了。京都を拠点に美術家として活動。「人の目から認識できない空間の歪み、4次元空間の存在」をテーマに、絵画や写真を複合的に組み合わせ、その存在を探る。主な展覧会に「ノランナラン / Norang / Narang」Books × Coffee Sol.(2021)、「円の裏は、四角」artists space TERRAIN(2020)、「紙より薄い、イメージより厚い。」児玉画廊(2019)など。

西久松友花

Nishihisamatsu Yuka

陶芸家

1992年京都生まれ。京都市立芸術大学美術学部工芸科陶磁器専攻卒業。京都市立芸術大学大学院美術研究科工芸専攻陶磁器修了。京都を拠点に陶芸家として活動。宗教的象徴物や独自の文化的背景を持つ様々なものの形や装飾を土で象り再構築し、独自の祈りの形を視覚化している。主な展覧会に「NATIVITY」品銀座(2021)、「かめおか霧の芸術祭」亀岡市文化資料館(2021)、「京芸transmit program 2020」京都市立芸大ギャラリー@KCUA(2020)、「国際工芸アワードとやま 2020」富山県美術館(2020)、「Kyoto Art for Tomorrow 2017 - 京都府新鋭選抜展 -」京都文化博物館(2017、NHK京都放送局賞受賞)など。